



すびっこ
美術館

百塚保育所

石田穂華ちゃん



野菜の収穫

保育園でお友達と一緒に野菜を収穫したときの絵を描いてくれたのは、穂華ちゃん(5歳)。毎日水遣りをしたようで、「ラディッシュとキュウリをとって、食べたんだ。パリパリしておいしかったよ!」とにこにこ話してくれました。

ぼくの夢
わたしの夢



夢は…。 “大工さん”

舟石川小学校6年 ●山口陸翔

ぼくの夢は大工さんです。理由は、ぼくの家を建ててくれた時に、とてもかっこよく見えたからです。朝早くから準備をして、丁寧に作業を進める大工さんの姿、そして、家が日々出来上がっていく様子を見て、とても感動しました。ぼくの家はレンガの家なので、セメントを塗り、レンガを積んでいきます。レンガは、合計1万1千個ぐらいあって大工さんも大変だと思うけれど、とても集中して頑張っている姿を見て、達成感がある仕事だと思いました。ぼくは、地震で家がなくなってしまったけれど、今、新しい家で楽しく生活しています。大工さんには、「くぎが折れないように打つこと」や「手で触ってもとげが刺さらないように削ること」などいろいろと教えてもらい、ぼくの家を大切に作ってくれているのが分かって、とてもうれしかったです。だからぼくも、人に喜んでもらえる大工さんになりたいと思いました。

わが家の子育てノート

表紙・埴篤司

わが家のかわいいプリンセスたちを紹介しします。もうすぐ5歳になるお姉ちゃん(長女)の千奈と、秋に2歳になる妹(次女)の京葉です。

2人ともおしゃべりが大好きで、家の中でドレスを着て過ごしたり、出掛けるときには、お姉ちゃんはともかく、妹も髪型の指定をしてきたりします。でも、ドレス姿で家の中を走り回ったり、ふざけ合ったりするので、プリンセスとしてはまだまだ見習い中ですね。

お姉ちゃんは、1歳のときには、片言ながら会話ができましたが、歩くことはできませんでした。逆に妹は、同じ時期に歩き回っていました。が、いまだに言葉は一言発する程度です。また、お姉ちゃんは肌が弱く、妹は食物アレルギーを持っていて、姉妹といえども違いが多いことを教わりました。

普段は私も、仕事で帰りが遅くなりがちで、なかなか遊んであげられないのですが、妻がしっかりサポートしてくれているので助かっています。

それに、3人の従姉が村内に住んでいて、2人のことをよくかわい

がってくれます。とても優しい従姉たちで、わがまま放題な娘たちとも、喜んで遊んでくれます。

うちの娘たちは、本当に幸せだと思います。娘たちにも、将来は、そんな優しい女の子に育ってもらいたいです。

人生は40年以上過ごしていても、親としては5年程度の若輩者——。自分の育て方が間違っていないかと、いつも不安です。でも、思い切った叱った後や、帰りが遅くなった翌朝も、「パパア〜♪」と言って抱き付いてきてくれると安心します。親の不安を分かってくれてくれるのかな…なんて思い、娘たちの優しさに励まされています。

子どもは、親の教育の結果、といわれています。これから、誰からも好かれる優しい子どもたちでいてほしいと思います。そのために親として何をすべきか…これからは悩みは尽きませんが、妻や子どもたちにも支えてもらいながら、家族みんなで成長していきたいと思えます。

